

MRK

useum iverwalk obe

神戸は都市計画によって湊川や生田川を「新しいまちづくり」のために創造してきた歴史がある。つまり、川から道への変換である。鉄道と高速道路によって分断されたミュージアムロードを緑の川としてRE: デザインする。いわば道から川への変換。石炭燃料に頼る移動手段を、再び人の移動へと取り戻す緑と水とアートのネットワーク。



王子動物園

桜の名勝

パブリックアート

桜の回廊

阪急電鉄橋脚

桜の回廊



桜の広場

車道を廃して桜の道に。様々なストリートパフォーマンスの場に提供する。



阪急電鉄橋脚

美しいカーブを描くアーチに季節やイベントごとのプロジェクションマッピングが投影される



美カエルトラム

県立美術館のアイドル、美カエルをデザインした無人トラムが遊歩道場を行き来する。



緑の遊歩道

JR 灘駅 2階から伸びる緑の遊歩道。県立美術館に向かってゆるやかに下るアプローチがアートとの出会いを感じさせる。



桜の広場

果実の森

植物の多くは林檎、花梨、柿、無花果、苺などの樹木。災害時の非常食にも活用可能である。



アーティストレジデンス

可動式のアトリエを兼ね備えた仮説住宅を一定期間設置する。制作プロセスが見える、市民とアーティストの交流を通して新たな表現を探求する場。





投影される作品

灘駅から見える高層ビル群の壁面に投影される特別展の作品が人々を美術館へと誘う。景観自体がアートとなるのだ。

ミュージアムマーケット

渚中学校前の道路を芝生広場へ。中学生にとっても交通安全性向上や敷地拡張という物理的な利点だけでなく社会への拡張を意味する。中学生のインターンシップ体験や美術館のワークショップ、アーティストレジデンスの成果発表や販売などが開催される場となる。



遊歩道に降り注いだ雨は、次第にその水量を増して神戸港に滝として流れ落ちる。雨の日にはしか見ることでできない自然が創り出すアート。



国道2号線

水の回廊

阪神高速神戸線

パブリックアート

神戸市立渚中学校

芝生広場

水の回廊

美カエルトラム終点

兵庫県立美術館

パブリックアート

雨水の滝